

# 保 育 か な が わ

発行所 横浜市神奈川区  
 沢渡4の2  
 神奈川県社会福祉  
 協議会保育分科会  
 神奈川県保育会  
 発行人 鈴木 萬 吏  
 題 字 故 内山岩太郎 筆

## 一九八〇年代を迎えて

### 神奈川県知事 長洲一三



皆様には、日ごろから乳幼児の健やかな成長のため、ひとかたならない御尽力いただき、お陰をもちまして本県の保育事業も着実な歩みを続けておりますことを心からお礼申し上げます。

激動と不確実性の時代とよばれました七〇年代も終わり、いよいよ八〇年代が始まりました。

この八〇年代は私たちに二重の宿題を課していると私は考えております。

第一は、七〇年代が私たちに教えてくれた教訓をしっかりと身につけること。

そして七〇年代が私たちに残した問題の後始末をつけることです。

そして、第二は、間近に迫った二十一世紀を県民にとって、特に私たちの子や孫たちにとって望ましい未来とするための基礎づくりに着手することです。

県では、このような考え方に基づいて、五十五年度は、「新神奈川

計画実現への新たな展開」をテーマに、重点施策の一つとして「地域に根ざした福祉社会づくり」を掲げました。

保育所の整備拡充はもとより、障害児保育の推進等保育内容の充実に積極的に取り組み、県民の保育に対する切実なニーズに応えてまいりたいと存じます。

しかし、保育事業の充実発展は、皆様方の献身的な御尽力と保育の現場である保育所の保母さん、また地域の皆様の御協力があつて、はじめて期待できるものであります。

私は、二十一世紀を担う子どもたちの健やかな成長のため、今後とも皆様のお力添えをいただきながら全力を尽くしてまいりたいと考えております。

会員の皆様のますますの御活躍と御健勝を心からお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。

#### 県保育会一年の歩み

- 4・21 県保育事業大会開催
- 同 定時総会開催
- 5・12 新任保母激励会開催
- 6・4 県内保母養成校と意見交換懇談会開催
- 6・6―8 関東ブロック保育研究大会(新潟)に参加
- 6・14 保母会役員と合同会議
- 7・25 保育かながわ24・25号及び保育まつり特集号発刊
- 8・9 県民生部長と保育センター建設を巡る基本的話し合いを行う
- 10・9 来年度会費増額を通知
- 10・30―11・1 全国保育研究大会(鹿児島)に代表派遣
- 11・30 第2回保育まつり保母のつどい(前夜祭大船)
- 12・1 「神奈川県保母の日」のつどいに協力参加
- 12・13 保育予算確保全国代表者会議に代表派遣
- 12・23―25 全国保育協議会の保育予算対策運動々員参加
- 2・9 県保母会結成20周年記念のつどい協力後援
- 3・12―13 施設長宿泊研修
- 3・13 保育施設見学実施(三島市内2保育所)
- 3・20 保育かながわ26号発刊



横浜市長 細郷道一

### 八〇年代を迎えての所信

き、都市の基盤である道路、下水道、更には福祉、教育、文化など、市民が快適で安全な生活が送れるようにするため、施策を積極的に進めていくつもりであります。

保育行政につきましては、市民の皆様とともに保育所整備に重点をおいてまいりました結果、現在では、公私合せて二一ヶ所、児童数一万八千余名となりました。

しかし、近年、市民の価値感の多様化にともない市民の保育需要も多様化してきており、保育所の基本的なあり方に関する問題をはじめ、内容面における問題等、極めて広範多岐にわたるものがあり、建設を中心とし施策を展開いたしておるところでございますが、その基盤はこどもの福祉向上にあるとして皆さまのご協力をいただき、おかげ様で「一万人に一ヶ所」の保育整備を図ってまいりましたところ、現在百四ヶ所余になり、幸に計画も達成いたしました。今後皆さまの永いご経験をふまえた、ご貴重な知識をお借りしながら市民に應えるべき保育行政を進めてまいりたい所存でございます。

どうぞ、皆さま方が益々ご健勝で保育事業の推進に一層ご活躍くださるようお願い申し上げますと共に、貴会のご発展を心からお祈り

ます。今後、財政問題を含めて解決を図らなければならないものが多くありますが、広く市民の理解を得ながら、時代の推移に対応した保育行政を進めていきたいと考えております。

「保育かながわ」第二六号発刊に際しまして、心からお喜び申し上げます。保育関係の皆様方には、常日頃、児童の福祉向上のために、ひとかたならぬ御尽力をいたしておりますが、日頃の御労苦に対しまして心から感謝申し上げます。さて、いよいよ一九八〇年代が始まりました。私も市長就任三年



川崎市長 伊藤三郎

### 「神奈川県保育会に寄せて」

目を迎えたわけですが、これから一層心を引き締め、市民本位の市政運営に全力をあげていく決意であります。

私は、八〇年代は二世紀を展望する新しい時代の幕あけの準備をする年だと思いますが、この幕あけも、世界情勢をみると大変厳しいものがあります。原油の価格は許されません。今年もひきつづ

一九八〇年代を迎え、県下保育関係者の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

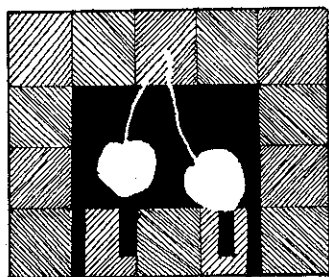
県下全域の保育関係者の集りでございます。県保育会が二〇年前には百九十九ヶ所余で発足、以来役員始め会員皆さまの熱意とたゆまぬ努力により今日四百十ヶ所余に発

展いたし、私ども保育行政の大きな支えになっておりますことに、深い感謝と敬意を表するものであります。

今さら申すまでもなく保育という営みは、その時代時代の英知と創意が傾注されてきたもので児童福祉の根元でもあると考えます。特に日常保育園に携わる皆さま

には、保育需要の増大と、社会生活の姿せんにともなう多様なニーズににこえるべく幾つかの実践をおして、保育内容の充実と技術の向上等を図られておるところで、私ども行政といたしまして非常に頼もしく心強い限りでございます。私は人間優先の社会、市民生活優先のそして「ふるさと川崎」の

申し上げ、所感の一端とさせていただきます。



# 昭和五十四年度を顧りみて

神奈川県保育会長 鈴木 萬 吏

暦年による国際児童年であった昭和五十四年は多彩な行事がくりひろげられました。鹿児島で開催された全国保育研究大会・神奈川県保母の日のつどい等々、あらゆる児童関係の行事のサブタイトルに国際児童年記念がついていたといっても決して過言ではなかったといえましよう。折も折時も時、全国の保育所関係者に一大衝撃を与えたのは自民党政調幼児問題調査会の発表した「乳幼児の保育に関する基本法（仮称）構想」なるもので保育所の保育に対する誤解と偏見を、家庭保育の重要性と幼児の一元化という表面上の理由づけをして現在の保育所運営の基盤である措置費体系の変革迫らせたものであり到底納得できるものでなく全国保育協議会（全保協）では全国保育会長会議を九月十八・十九両日東京で緊急に開催し反対を決議し以後各地各種の保育関係諸団体は会合を開き組織を設け懸命に対策を講じています。中央の保育関係三団体即ち全保協・日保

今からお願ひいたします。さて県内の活動については各種委員会の活動による会運営の活性化と脱マンネリ化をはかるべく関係の諸先生方のご協力によりすめてまいり徐々に成果をあげつつあります。又事務局の責任体制確立の意味で非常勤の事務局長をおき富田英雄岩瀬保母園長にご就任いただきました。

協・私保連の各団体は各二名の代表を選出し「保育基本問題委員会」を設けこの委員会で統一した見解を外部に対して表明することとしこの面での大同団結をはかり昨年十二月二十一日と今年三月十日に文書をもって自由民主党政務調査会幼児問題調査会に対し申し入れ及び意見を表明しました。尚私も全保協を代表して委員であります。がこの問題がきわめて政治的な問題である以上今年の参議院選挙を中心として激しい重要な動きが為される筈であり、田中正己元厚生大臣の社会福祉諸団体を挙げての全国区参議院選挙後援と併せて新年度前半にかけての一大課題といえます。

県社協保育分科会としては労基法研究委員会による就業規則等諸規程集が一応完成し印刷配布にいたりました。県保母の日も各地での行事も定着しつつあり保母の日のつどいも念願であった県民ホールで開催することができました。本会主催の前夜祭も鎌倉で盛大に開催され第二回目を数ええました。最後にになりましたが神奈川県民生部長に田中信夫部長が就任されました。田中部長は保育にはとりわけ深いご理解と造詣をおもちで意欲的な民生行政の展開の中で保育事業の一大進展が期待されます。

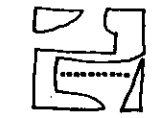
昨年末の予対活動は財政危機と福祉見直しの際しい状況の中でくりひろげられ本県からも連日年末多忙の中を多数の先生方のご協力で実施され一応の成果をあげるこ

とができました。今後益々厳しくなる諸条件に加うるに基本法がらみの問題もあつて特段のご協力を

県社協保育分科会労基法研究委員会では、昭和52年度より継続し民間保育園の就業規則の見直しの課題に取り組んできた。この間研究委員会は、研究委員9名の構成メンバーで、なお、常時神奈川県労働基準局及び神奈川県民生部児童課担当官の適切な指導を得て、回を重ねること13回にわたる研究会の結果、この度その成果である就業規則、給与規程、旅費規程、退職手当支給規程等を網羅する「民間保育園諸規程準則集」を集大成させた。長期間にわたる審議課程と、このまとめに当っては慎重を期し、ご多忙中出席の指導官のアドバイスと、各研究委員諸氏の貴重な体験をもとにした積極的意見を尊重し、幾度となく草案が全

## 労基法研究委員会の研究成果まとまる

面的或は部分的に改められたことも多かった。活用については、本来就業規則及び諸規程はそれぞれの施設の実状に合致した内容のものでなければならぬのであり、あらゆる施設に共通するものを作成して供することは不可能である。その意味からしてこの準則も万能のものではあり得ないことを了解して、それぞれの施設ごと、その施設の実態に促すような内容を取捨選択して作成することが必要である。更に附言したいことは、就業規則及び諸規程の取り扱いについて、単に作成して施設で保管するだけでなく、常時職員が見易いように掲示するか、又は職員各人に印刷配布して日常職員への周知徹底すること、また職員組合の意見又は職員の過半数を代表する者の意見を求め、それを附して管轄の労働基準監督署に届出ることが大事なことである。



間保育園諸規程準則集」を集大成させた。長期間にわたる審議課程と、このまとめに当っては慎重を期し、ご多忙中出席の指導官のアドバイスと、各研究委員諸氏の貴重な体験をもとにした積極的意見を尊重し、幾度となく草案が全

安部前会長は去る九月八日出先で転倒し、石段で頭部及び全身を打撲し東海大病院に入院中でしたが快方に向つたため現在自宅療養中です。

第二回の「保育まつり」は、「保母の日前夜祭」と銘打って、十一月三十日に、大船ホテル好養で盛大に催されました。

田中民生部長。一見児童課長、舟田代理をはじめ、三谷光雄県議、渡辺鎌倉市長、養成校の先生方等、沢山の来賓の御出席をいただき、会はいやが上にも盛り上りました。東海道線、横須賀線、根岸線の走る大船に会場を設営したのは、足の便を考へてのことでしたが、なにしろ、前の年は、「食べものがなかった」と、おせいひの保母さんから、お叱りを受けていたもので、これにこりて、参加者が少ないのではないかと、心配でたまりませんでした。しかし、園長先生方の、御協力のお陰で、三百

# 第2回 保育まつり

## ★平塚中郡

神奈川県では五十二年から、全国に先がけ、十二月第一土曜日を「保母の日」に制定されました。この保母の日の趣旨を地域にも広く理解して頂くために、平塚中郡に於きましても保育会、保母会、共催にて第三回保母の日のつどいを、十二月一日に、県立農業会館にて開催致しました。各行政から多数のご出席を頂き、式典とアトラクションの二部に分けて、式典は保育会の司会で、平塚市長、二宮、大磯町長がご多忙な中から貴重な激励の言葉を頂き、保育者の声として永年勤続、中堅、新人の発表がありました。折しも今年には国際児童年の制定を見る感慨深い年を



枚の入場券を売ることができて、本当に感謝いたしております。

前年の食糧不足は「私達は、少ししかいたしません」という、一部の保母さんのため。ま、論と、料理を発注した食堂の経営者の若い女の人に、「馬に喰わせるわけじゃあなし、そんなに用意する必要はありません」といわれて、それを額面通り信じたせいでした。

そこで、ホテルの支配人と、たびたび打合せを行ない、料理の量について検討しました。「若い女の人は、そんなに食べるわけがない」「残って捨てるのはもったいない」と、笑ってとりあわない支配人に、「なにしろ、育ち盛りの上に、お昼に給食を食べただけなので、参加者は、みんなアツ倒

れそうにおなかへっているんだから、常識では判断できないよ」と、何度も説明して思いついて料理を沢山注文しました。

次に福引の準備にかかりましたが、今年にはなるべくおおぜいの人に幸運をお届けできるようにと、会長をはじめ多くの委員の寄附をおおいだりバーゲン新聞広告を見てフッ飛んでいたり、店のオヤジさんに泣きついて、原価提供してもらったりして、品数をふやしました。参加賞はどうしたらよいか思いあぐねてとび込んだ薬局の主人に相談したところ、トレーを三百八十枚寄附してくれました。なんにも買ったことのない薬局で十万円以上の商品、ボンと寄附してくれたのですから、私達は狐につままれたような思いでした。

料理が並んだころ到着したお嬢さんが、開口一番「わあ、料理がいっぱい」と眼を丸くしたのをみて、「今日は大丈夫そうだ」と胸をなでおろしました。鎌倉市役所職員のパンドが友情出演してくれましたが、「へなそうる」という妙な名前の割には素晴らしい演奏で、満員の参加者が頬を上気させて踊りまくり、会場は興奮のル

## ★座間市

座間市保育会と保母会では、十四年度の行事の一つとして、子どもたちの幸せを考へる国際児童年を記念して、関係映画の鑑賞とおとしての研修を計画し、座間市文化福祉会館において三月十五日午後二時より開催いたしました。一つとして、「はばたけ子どもたち」の記録映画により子どもたちの発達に応じた保育の姿を是非保育に迷う現代の若い母親や、社会の人たちに見てもらい乳幼児に対する理解を求め、本当の子どもへの幸せとは何かを考へる場・時間を与える機会にしたいと考へた。

二つとして、世界平和ノーベル賞受賞者の「マザーテレサ」その人の仕事と、生き方を映画をおととして理解することによって、園長

## ★横須賀市

横須賀で毎年行なわれている保育事業大会は、回を重ねること、十二回。今回は十一月十日横須賀市及び横須賀市社会福祉協議会の後援で行なわれた。

内容は第一部と第二部にわかれ第一部は代表者挨拶、児童憲章朗読、永年勤続者表彰及び大会宣言を行ない、第二部は、映画「老人と高校生」講演は「はまゆうキャンプの記録」と言う話をされた。当日は公私立保育園が一体となつて行ない、横須賀市長挨拶の中に、人間の骨格は三才までに決まると言われているが、この段階を受け持つ私達の使命はおそろしい程大切である。原点にかえって、より大切に育ててほしい、公立の設置、私立への援助によって、ますます充実させていきたいと話された。(横須賀市保育会会長)



ツボと化しました。こんなに沢山ある福引きだから来賓の人達にも当ってくれたいいなという願いが通じたのか、民生部長にも、三谷県議にも、市長にまでもよい品が当たったのは、偶然としては出来すぎで、驚きでした。



過日、児童課長と本年度の予算について話し合いの会を持ったときに、「保母のつどいの主旨はわかるし、有意義な事だとは思いますが、研修とは違うので、補助をつけにくい」と、この保母のつどいを定着させるために是非補助をという私達の切なる願いが斥けられてしまいました。しかし、「是非一度お出かけ下さい」という私達の誘いが実を結んで良かったと思つて

「本当によい会でした」という感想を洩らされたから、来年もきつと出席していただけることでしょう。残念だったのは、長洲知事に招待状を差上げてあったのですが、所用とかで御出席いただけなかったことです。

知事のお宅は鎌倉です。県庁の掃途にちよつと寄つていただきたかったのですが、何しろ忙がしい知事ですから仕方がありません。来年は是非御出席願いたいと思つています。

(富田英雄)

## ★南足柄市

今年には国際児童年、この意義深い年に、南足柄市では大変有意義な研修会を催しました。「神奈川県保母の日のつどい」から一週間経た12月8日市の主催により「南足柄市保母のつどい」として金太郎さんが見守る足柄山のふもとで和気あいあいと行なわれました。四園61名からなる小さな保母会ですが、同じ目的に向つて出席できた事は大変嬉しく思いました。

午前9時30分より、市長・福祉事務所長・児童課の方々と、保育会の園長方のあいさつがあり、今年から市の暖かいご配慮による、市内園6年勤続保母の表彰が執り

◆「保母のつどい」と「保母賞授賞式」は、参加者でふくれあがった県民ホールで、十二月一日(土)午後一時から行なわれましたが、授賞式では七人の受賞者をたたえるあたにかい盛大な拍手が、いつまでも鳴り止みませんでした。

◆「グークグックスは丘巻でした。結成以来二十五年を過ぎたチームワークはさすがで、その甘いトーンとハーモニイは、保母さん達の心の琴線をゆさぶり、満場を魅了し尽くしました。

◆娘を嫁にやる時の父親の悲しさをうたった歌は、実感がこもつていて、客席のあちこちで、そつと眼がしらをおさえる人があつて、会場は水を打つたよう

# 箱根旧街道の旅

湘南福祉センター 明石町保育園

保母 加藤裕美

保育まつり  
旅行券当選者  
特別寄稿

十一月三十日大船のホテル好養で催された保母の日前夜祭に参加して、盛大な立食パーティーの合間に余興の福引で、思いもよらなかつた「旅行のプレゼント」という幸運を引きあてた。あれこれと家族とも相談の結果お正月始めの休日の一日母と弟、私の三人で箱根へ出かけた。

この旅行では、できる限り足を使ひ、大自然の中にひっそりと静まりかえっている歴史を探り、閑静な名所旧跡を散策しようという事で旧道を行くことにした。私にとつて、はじめて歩くコースである。母は長時間歩くのはいやだと渋っていたが「途中バスを利用すればいいし、まだ若いのだから大丈夫」の一言に納得し喜んで同行することになった。

しかし、旅の初めから電車に遅れそうになり小田原ではバスに乗り間違え予定のコースを逆回りすることになるなど、今からこのようなことで、と先々心配された。最初に訪れた所は塔の峰の中腹

にある阿弥陀寺という寺、ともすると見過してしまふような細い道を三十分ほど登るとやがて堂々とした茅葺の屋根が見えて来る。汗を拭いながら上がつて来ただけの甲斐はあり周囲の静けさと茅葺の古い建物はなぜか懐かしさと安らぎを与え、「昔」を感じさせてくれる。そして何よりも山寺のイメージにぴたりなのだ。満月の夜には狸があちらこちらから集まり狸囃子が聞けるのかもしれない。

「あいにく住職は留守にしてまして」と出てこられた老女がこの寺について親切にいくつか話してくれた。阿弥陀寺は浄土宗の名刹で慶長九年小田原城主大久保忠隣が中興した寺。昔インドのアショカ王が分配した分舍利を取めた宝塔が一つ安置されているそうだ。この建物は山むこうの村にあった

庄家の家を現在地に移してから百八十年ほどを経過したという、鎌倉時代の建立といわれ八百年近く支えてきた大黒柱は「こうなる」と薫製されたようなもので虫も喰わ

ないらしいですよ」とのこと。初め庫裏として住むはずだったらしいが塚家のない寺で結局資金の面で本堂を建てることのできない理由となり、そのままこの建物が本堂とされるようになったらしいとのこと。茅葺もめつたに見ることのできなくなつた今、トラック二台分もの茅を使い大掛かりに葺き直されたそうだがいつまでも茅葺の奥ゆかしさを残しておいてほしいものだ。

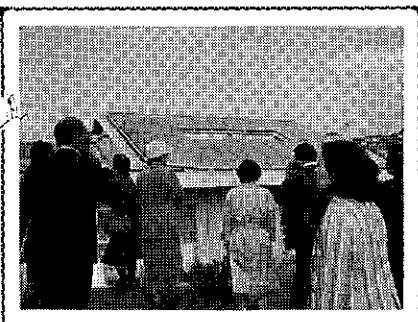
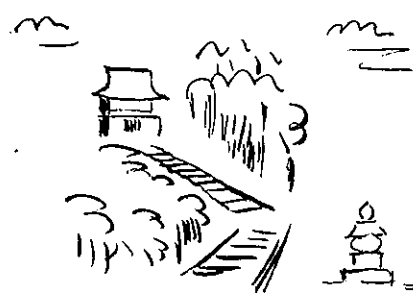
阿弥陀寺を後にして私達は彫刻の森、芦ノ湯に点在する石仏や石塔（曾我兄弟の墓）精進池に立ち寄りながら元箱根まで出た。元箱根に着く頃から日のさしていた空が曇りはじめ霧まで出てくる始末「女心と山の空」はたまた普段のおこないが悪いのか……。

次は箱根旧街道を歩く（畑宿まで）予定。箱根八里と呼ばれ大名も通つたという、そして昔の面影がよく残り江戸時代を忍ぶことができるというのでぜひ歩いてみたいと思つたのだが傘をささずには

いられないほど雨も降ってきた。「このままバスに乗って帰ろうか」とちよつと弱気になつた。しかし、「ここまで来たのだから歩いてみよう」ということで歩き出したのはいいのだが、雨の中車道から外れ人影のない細い道を歩いてみると「このまま帰れなくなるのでは」と心細くなつた。しばらく歩くと静けさにも慣れ、石畳と灌木の茂みが続く、人馬の往来の激しかった昔を忍んで歩いてみた。

石畳のおかげでぬかるみを歩くこともなく、灌木の茂みのおかげで雨風がやわらいだ。昔の人はなんて素敵なお道をつたのだらうと感謝さえしたくなつた。畑宿までの間にはこれと逆に近代的な自動車道に寸断されたり車道に添つて歩く道もある。やはりその間は車を気にしながら歩くことになり少々

がっかりもした。しかし、今まで知ることのなかつた素晴らしい道歩くことができ、ここまで来た甲斐があつたと実感した。さすが東海道屈指の難所といわれその名残りがうかがえるだけあり畑宿へ着く頃には三人とも足が棒になつていた。



**施設見学**  
白道保育園  
3月13日  
美蓉台保育園

去る三月十二日の箱根湯本で開かれた施設長研修会に続き、希望者によつて三島市内の二施設の見学を実施した。まず白道保育園（加屋町2-21）、と三島市効外に新設された芙蓉台保育園（芙蓉台2-3-17）のソーラーシステム導入の園舎を見学した。

### 県保母会

### 20周年記念のつどい

県民生部長をはじめ、多勢の方々の御来席を受け、ここにめでたく二十周年記念の集いを、盛大に終了することができました。

ふりかえって見ますと、白いテールブルクロスに、美しい花、ささやかなおつまみをしり目に式典が始まりました。

御来賓の方々より、うれしいご祝辞と激励のお言葉を戴き、何か責任の重さを感じずにはいられませんでした。今日の保母会があるのも、県行政、社協、保育会の方々のお力添えは申す迄もなく、歴代の大先輩の方々が作りあげられた基盤があつたればこそ……と感謝の念を忘れてはならないと思えます。日頃忙しい毎日を送っている保母達が、いつ練習したのか、見事に、郷土色を生かし、色々な熱演を披露して、会を盛りあげることができた事は、保母会のチームワークの良さを物語るものと信じます。

これからも、実りある保母会となりますよう、会員相互の協力を誓い合い幕を閉じることができました。今日の式典を区切りに、お

互い手を取り合って、二十一世紀へ向かって、子等と共に、はばたいて行きたいと思えます。

### ★全国大会および

### 関プロ大会の日程きまる

第二四回全国保育研究大会は一月一四日―一六日みちのく秋田市において、第二一回関東プロック保育研究大会は七月九日―一日松本市において、それぞれ開催されることになった。

### 五五年度全国共通研究テーマ

「主題」育てることを見直し、

よりよい保育のあり方をもとめて、

### ★県保育会新年慶事業のお知らせ

今年新しく県内保育所に就職した新任保母を一堂に集め、保母としての自覚と誇りをもって、未来ある子どもたちの保育に従事できるようにその壮途を祝い激励するため、4月26日県社会福祉会館において盛り沢山内容で新任保母激励会を開催する。

### 全国共通の研究テーマに基づき

保育関係者日頃の研究成果を発表し併せて関プロ研究大会、全国大会に向けての意見の積み上げを目指した神奈川県保育事業大会を5月17日県社会福祉会館において、県保母会と共催開催する。

右の日保育会の定時総会を併せて開催する。多数の参加希望します。



是非行って見たい島。それは、最後の楽園、魅惑の島バリ島です。

保母会が、今年から海外旅行のあつせんをする事になったのを機に、バリ島ツアーを計画しました。その理由は、最後の楽園の魅力もさることながら、戦争孤児を私財を投じて育てた三浦さんの墓参と、保育会副会長の鈴木栄一先生が戦争中従軍記者として、バリ島に駐在していたことなどでした。

◆「耕して天に至る」見渡す限りの棚田又棚田。椰子の木がなければ日本の風景と変わりません。田圃の稲をそよがせて渡って来る、甘い風を胸一杯吸って、何かほっと生きかえったような感じがしました。

た。年に何度もお米がとれるこの島は裕福で、おっとりしています。◆自転車店を経営する三浦さんという人が住んでいて、私財を投じて、戦争孤児を育てていました。終戦を迎えた時、オランダ軍が進駐して来て（実際には来なかったが）捕虜になるのを快しとせず、ピストル自殺をしてみました。

現在この島が、極めて対日感情がよいのは、この三浦さんのお陰だといひます。立派なお墓に、日本酒をふりかけ、石野先生が持参した千羽鶴や饅頭を供え、一生懸命お経をあげて祈りました。

◆首都アンパサルは、西の市場という意味だそうで、その名の示す通り市場は活況を呈していましたが、上手に日本語を操り、私達日本人に、市場を案内して歩くことを業としている若い娘が寄つて来て、私達を、マンゴスチン売の店に引っぱり張っていききました。日

本人はよくよくマンゴスチンが好きとみえます。何しろ果物の女王ですから。

### ◆アンパサールの盲学校を訪問しました。

日本のバリ会が援助している学校だそうで、鈴木先生と石野先生と私とで、通訳の平さん

を伴って出かけました。寄附集めとかで校長先生は留守でしたが、理事長さんに会って、ソニーのポケットラジオを数台寄附していただきました。

◆平さんはガイド兼通訳ですが、戦後帰国をあきらめて独立軍に投じ、陸軍を指揮した勇者で、インドネシア国籍を与えられた英雄です。一語に独立軍で戦った曽我さん（神奈川県出身）はオランダ軍に殺されたので、今でもその遺骨をさがしているとのことでした。市場の近くで偶然曾我さんの息子に会いました。若い陸軍の軍人でしたが、愁いを含んだきれ長の眼が印象的でした。

◆神殿にぬかずく婦人は、一本の線香を捧げ持つて、しばし冥想しておりましたが、やがて、自己催眠の状態となり、座ったまま、ゆつくりと踊りはじめました。

◆日が落ちて、涼風に頬をなぶられながら、浴衣がけで、椰子の葉越しに眺めた南十字星の青い光が今でも眼に焼きついています。



# 鹿児島全国大会

## 報 告

### 県社協規程 改訂さる

昨年十月三十日から十一月一日までの三日間、鹿児島市で第二十三回全国保育研究大会が開催されました。県大会、関プロ大会と積みあげていった研究テーマを中心に二千三百名の保育関係者を全国から集めたこの大会の様子は、保育の友ニュース十二月号及び一月号でご承知のことと思います(従って内容は省略し雑報的報告をいたします)が、神奈川県全県からも四七名の参加者があり、多忙の県議会副議長、奥村 栄先生も保育園長として参加され又、大会表彰の栄に浴された県保育会副会長で藤沢市立辻堂保育園長、今井寿子先生と、小田原市、国府津保育園副園長、長谷川愛子先生のお二人がご出席になられました。

このような大会では、宿がよく問題になります。この大会では食事を除いては最高の城山観光ホテル設備と眺望を満喫しました。今井寿子県副会長は速報作成の為別の宿で大奮斗でした。

三日間の大会を終了した翌日は桜島の灰が、バラバラと顔にあたり痛いように降って来しました。

八〇年代の幕あけに創立三〇周年を迎える県社協では、年毎に増大し、かつ質的にも変化する県民の福祉的要請に応えるために、会員役員構成を中心とした定款の一部変更が、去る一月二二日開催の評議員会で審議決定された。

第一点は、会員の枠組の拡大をはかったことである。広く社会福祉を目的とする諸団体や住民団体(ボランティア組織、職能別従事者組織等)の協力参加が必要であるということから会員の拡大を指したものである。第二点は、理事・評議員数を縮小したこと。従来は理事が六〇名、評議員が二五〇名という全国一の規模であったが、これを理事二〇名、評議員六〇名に縮小され理事会は、理事の三分の二以上の出席が成立要件となり、委任又は書面審査は行わないことになった。評議員も会議の成立要件は従来どおり過半数である。議決に関しては評議員総数の過半数の賛成が必要となった。詳しくは福祉タイムス一月号を参照下さい。

### おめでとう

#### いよいよ

▽昭和五十四年社会福祉事業関係者で大臣表彰以上の榮譽を受けられた方々

勲五等双光旭日章  
山元町保育園園長小俣健次郎殿  
勲五等宝冠章  
荻野すみれ愛児園園長

勲六等单光旭日章  
山王保育園園長 都築誠真殿  
藍綬褒章  
真鶴自童園園長 三輪宜照殿  
厚生大臣表彰  
茅ヶ崎保育園園長 堀部綾子殿  
相模原保育園園長 重本和子殿  
小田原乳児園園長 望月 光殿  
龍巖寺保育園園長 粕賀シズ殿  
さがみ愛子園保母松浦紀代子殿  
真鶴自童園保母 露木カヨ子殿  
法務大臣表彰  
ひまわり愛児園園長

### 会費増額について\*

神奈川県保育会では事業活動の円滑を期するため、一〇月委員会

で検討したの通り増額をきめた。  
新会費(一施設ごと)  
均等割六〇〇〇円と定数割(定数に五〇円を刺じた額)の合計額

## あつごがさく

馳走は沢山用意してあるのとことであつた。

○石油は、あと二十年で、地球からなくなりませう。そこで、いまや真剣に考えられているのが太陽熱の利用つまり、ソーラーシステムです。一般家庭の屋根の上にのせた、畳一枚ぐらいの箱の水は、太陽熱であたためられて、熱湯になります。大変便利ですが、ビニールの部分がないとむさばり食つた。おかげでフィルムが切れ、あわてて近くのスーパーに走つたことであつた。

(渡部将賢)

○夢の島パリ島も二度の大地震を吸収して水をあためた部分に、真空ガラス管を使用していますので、高性能でながもちします。冷暖房、給湯の一切をまかないますので、雨の日の補助ボイラの為のわずかな燃料代しかかかりません。欠点は高価な事です。しかし、国策ですから補助金が沢山出れば、急速に普及するでしょう。(富田英雄)

○第二回保育まつりでのこと。小生写真撮影を頼まれていた。担当の富田園長の世話で今回大船駅近くのホテルで実施され、昨年の徹をふまぬよう、御

型どおり「御挨拶」から始まつて、立食パーティになる。その間人が変わる度に撮影し、この調子なら二十四枚撮りで頂度よいなど考えていたが、立食パーティになつたとたん急がしくなつた。初めは処女の如くであつたのに、食べ始まつたら、はじも外間もない。われもわれもとむさばり食つた。おかげでフィルムが切れ、あわてて近くのスーパーに走つたことであつた。

(渡部将賢)

○夢の島パリ島も二度の大地震や、沢山の観光客の来訪に島の風情が大きく変ぼうしていった。戦前まで基本貨として流通していた穴明き銭(銭形平次使用と同じ銅銭)が、グッドラックとなつてホテルのおみやげ品として売られていたり、未婚の少女が神に捧げる神秘的な踊りが、観光客用の職業的踊りとなつたり、物乞いを強要する子供達の群等、戦前のパリ島とは似ても似つかぬ程の変貌で心を痛め乍ら、孤児達の為に散つた三浦氏の墓に詣でた。

(鈴木栄一)